

13

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

1454

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23389報)

2022年 3月 29日 14時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [3月29日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 3月28日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 3月28日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 3月28日]</li> <li>・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 3月11日~3月17日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 3月24日、3月28日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 3月21日、3月28日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロールにおいて、23350報他でお知らせしたEタンクエリアの内堀の雨水については、漏えい痕が確認された箇所の補修ならびに当該箇所付近の水抜きを実施しております。引き続き堀内雨水水位の変化の有無を確認します。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、3月30日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。 ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 3月25日]</p> <p>【公表区分:その他】</p> <p>※添付の有(有)り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年3月29日 11:00現在

【取替事項】  
各計測器については、仕様やその他の要領書の差を要して、近隣の取替用機材を  
取替しているものもあり、正しく取替されていない可能性のある計測器も存在している。  
プラントの状態を把握するために、このような計測器の不備が正常と誤認し、取替  
の取替機材が取替られる情報を使用して誤った判断に繋がらないようにしている。

	1号機		2号機		3号機		4号機	
	給水系	CS系	給水系	CS系	給水系	CS系	給水系	CS系
原子炉注水状況	4.0 m <sup>3</sup> /h ※7	1.5 m <sup>3</sup> /h ※7	0.0 m <sup>3</sup> /h ※7	1.6 m <sup>3</sup> /h ※7	0.0 m <sup>3</sup> /h ※7	1.7 m <sup>3</sup> /h ※7	0.0 m <sup>3</sup> /h ※7	1.7 m <sup>3</sup> /h ※7
原子炉炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 13.8 °C 原子炉 SKURT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 13.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 13.2 °C (3/29 11:00 現在)		VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 21.6 °C RPV温度 (TE-2-3-69F) : 22.6 °C (3/29 11:00 現在)		スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 20.3 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 17.9 °C (3/29 11:00 現在)			
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 13.2 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 13.2 °C (3/29 11:00 現在)		RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 22.0 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 22.0 °C (3/29 11:00 現在)		格納容器空筒液戻り空気温度 (TE-16-114A) : 20.0 °C 格納容器空筒供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 17.8 °C (3/29 11:00 現在)			
原子炉格納容器 圧力	0.15 kPa.g (3/29 11:00 現在)		1.69 kPa.g (3/29 11:00 現在)		0.44 kPa.g (3/29 11:00 現在)			
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH+A) : - Nm <sup>3</sup> /h (RVH+B) : 15.51 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A) : 14.08 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B) : - Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)	※4	RPV-A : 6.59 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B : 6.64 Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)	※4	RPV-A : 8.45 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B : 8.65 Nm <sup>3</sup> /h PCV : - Nm <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)	※4		
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.9 m <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)		18.28 Nm <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)		20.12 Nm <sup>3</sup> /h (3/29 11:00 現在)			
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系 : 0.00 vol% B系 : 0.00 vol% (3/29 11:00 現在)		A系 : 0.11 vol% B系 : 0.11 vol% (3/29 11:00 現在)		A系 : 0.14 vol% B系 : 0.13 vol% (3/29 11:00 現在)			
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系 : 指示値 1.08E-03 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.52E-04 Ba/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 7.11E-04 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.19E-04 Ba/cm <sup>3</sup> (3/29 11:00 現在)		A系 : 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (3/29 11:00 現在)		A系 : 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系 : 指示値 ND Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (3/29 11:00 現在)			
使用済燃料プール 水温度	21.9 °C (3/29 11:00 現在)		21.3 °C (3/29 11:00 現在)		- °C (3/29 11:00 現在)	※5	- °C (3/29 11:00 現在)	※5
FPC 炉圧力容器 水位	4.15 m (3/29 11:00 現在)		4.30 m (3/29 11:00 現在)		- m (3/29 11:00 現在)	※6	67.3 X100mm (3/29 11:00 現在)	※6

【注】値は計測器の表示値を示す。  
※1: 原子炉格納容器内の水素濃度は、計測器により測定される。  
※2: 放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を示す。  
※3: 窒素封入流量は、原子炉格納容器内の窒素封入流量を示す。  
※4: 原子炉格納容器内の窒素封入流量は、原子炉格納容器内の窒素封入流量を示す。  
※5: 原子炉格納容器内の水素濃度は、原子炉格納容器内の水素濃度を示す。  
※6: 原子炉格納容器内の水位は、原子炉格納容器内の水位を示す。

2022年3月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

## サブドレン等 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/03/28 10:40	< 6.7E+00	< 7.1E+00	2.1E+02
2号機サブドレン	2022/03/28 07:31	< 3.0E+01	2.5E+02	9.0E+03
3号機サブドレン	2022/03/28 10:08	< 4.2E+00	< 4.1E+00	< 5.3E+00
4号機サブドレン	2022/03/28 10:30	< 5.1E+00	< 4.2E+00	< 5.1E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
筒内深井戸	—	—	—	—

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

2022年3月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/03/28 10:30	< 5.1E+00	< 4.2E+00	< 5.1E+00
プロセス主建屋北東	2022/03/28 07:47	< 4.8E+00	< 5.3E+00	< 4.2E+00
プロセス主建屋南東	2022/03/28 07:55	< 4.5E+00	< 3.0E+00	< 3.5E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/03/28 08:18	< 4.3E+00	< 5.3E+00	< 5.0E+00
サイトハンカ建屋南西	2022/03/28 08:08	< 4.4E+00	< 4.4E+00	< 3.8E+00
焼却工作建屋西側	2022/03/28 08:13	< 4.9E+00	< 3.4E+00	1.8E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/03/28 08:23	< 4.9E+00	< 3.8E+00	< 3.5E+00
サイトハンカ建屋南東	2022/03/28 08:03	< 4.7E+00	< 2.8E+00	< 3.5E+00

核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

0.0E+0とは、 $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31、3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1、3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

サイトハンカ建屋南面は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2022年3月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/03/28 08:05	3.7E+00	< 4.7E-01	2.5E+00
物揚場排水路	2022/03/28 08:09	< 3.0E+00	< 6.2E-01	7.7E-01
K排水路	2022/03/28 06:00	4.6E+00	< 2.6E-01	3.1E+00
BC排水路	2022/03/28 06:00	< 3.0E+00	< 5.3E-01	< 6.1E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±O とは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。  
(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

2022年3月29日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/03/11 07:27	0.0	0.000	3.9E+00	—	< 4.5E-01	1.9E+00
	2022/03/12 07:10	0.0	0.001	4.8E+00	—	< 6.0E-01	1.5E+00
	2022/03/13 07:55	0.0	0.001	4.6E+00	—	< 4.6E-01	1.6E+00
	2022/03/14 07:58	0.0	0.052	3.9E+00	—	< 6.6E-01	2.0E+00
	2022/03/15 07:20	4.0	0.001	1.8E+01	—	< 6.1E-01	1.6E+01
	2022/03/16 08:00	0.0	0.001	3.7E+00	< 5.9E+00	< 4.5E-01	3.2E+00
	2022/03/17 07:30	0.0	0.001	5.7E+00	—	< 5.6E-01	1.7E+00
物揚場排水路	2022/03/11 07:32	0.0	0.006	< 2.8E+00	—	< 6.1E-01	< 6.6E-01
	2022/03/12 07:15	0.0	0.006	< 3.0E+00	—	< 3.2E-01	1.1E+00
	2022/03/13 08:00	0.0	0.006	< 2.8E+00	—	< 4.1E-01	< 5.6E-01
	2022/03/14 08:02	0.0	0.006	< 3.3E+00	—	< 4.4E-01	1.2E+00
	2022/03/15 07:25	4.0	0.016	6.0E+01	—	1.4E+00	6.1E+01
	2022/03/16 08:05	0.0	0.005	3.4E+00	1.0E+01	< 5.2E-01	3.0E+00
	2022/03/17 07:26	0.0	0.006	< 3.3E+00	—	< 8.0E-01	1.6E+00
K排水路	2022/03/11 06:00	0.0	0.007	5.7E+00	—	< 5.3E-01	4.2E+00
	2022/03/12 06:00	0.0	0.006	6.4E+00	—	< 5.4E-01	4.2E+00
	2022/03/13 06:00	0.0	0.007	7.1E+00	—	< 7.3E-01	4.3E+00
	2022/03/14 06:00	0.0	0.008	4.6E+00	—	< 4.3E-01	3.7E+00
	2022/03/15 06:00	4.0	0.010	8.1E+00	—	< 6.8E-01	5.2E+00
	2022/03/16 06:00	0.0	0.008	7.8E+00	1.1E+02	< 6.4E-01	5.6E+00
	2022/03/17 06:00	0.0	0.012	2.5E+01	—	< 5.1E-01	1.4E+01
BC排水路	2022/03/11 06:00	0.0	0.019	< 2.8E+00	—	< 5.4E-01	< 6.2E-01
	2022/03/12 06:00	0.0	0.023	< 3.0E+00	—	< 5.0E-01	< 5.4E-01
	2022/03/13 06:00	0.0	0.020	< 2.8E+00	—	< 5.0E-01	< 6.4E-01
	2022/03/14 06:00	0.0	0.019	< 3.3E+00	—	< 4.8E-01	< 5.3E-01
	2022/03/15 06:00	4.0	0.032	< 2.9E+00	—	< 6.8E-01	< 8.5E-01
	2022/03/16 06:00	0.0	0.023	< 2.8E+00	< 5.9E+00	< 6.1E-01	< 8.0E-01
	2022/03/17 06:00	0.0	0.023	5.7E+00	—	< 4.3E-01	1.3E+00
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	

核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)

不等号 (&lt;：小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31，3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1，3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

流量以外は既にお知らせ済み。

2022年03月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y:塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/03/24 08:20	1.7E+01	1.1E+04	< 3.0E-03	< 3.0E-01	< 2.3E+00	< 9.0E-01	< 2.9E-01	8.0E-03	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出値の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370E)、Sr-125(約30年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (< 小2σ) は、検出限界未満 (MD) を表す。

・測定対象外および規格外の項目は「-」と記す。

・O.E±Oと表、O.O×10<sup>0</sup>であることと意味する。

(例) 3.1E+03は3.1×10<sup>3</sup>、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>と記す。

・H-3以外の項目は線形に訂正済み。

※1 No.1-9は、採水器による異物であるため、測定結果を無効とし、全βは参考値として当該線に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号観測ポイント 湧き上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/03/24 08:15	1.9E+02	3.3E+02	< 2.2E-01	< 1.9E-01	< 2.5E+00	< 8.7E-01	< 2.2E-01	< 3.7E+00	-	-	-	-	-
No.2-2	2022/03/24 07:55	1.7E+02	3.4E+02	< 2.1E+00	< 2.2E+00	< 1.9E+01	< 7.6E+00	< 2.1E+00	5.2E+01	-	-	-	-	-
No.2-3	2022/03/24 07:52	2.6E+04	2.4E+09	< 3.4E-01	< 3.7E-01	< 3.5E+00	< 1.5E+00	< 4.2E-01	7.5E+00	-	-	-	-	-
No.2-5 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-8	2022/03/24 08:00	3.4E+03	1.9E+02	< 2.4E-01	< 2.7E-01	< 2.9E+00	< 1.1E+00	4.0E-01	6.5E+00	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 湧き上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	2022/03/24 07:40	2.8E+02	1.7E+03	< 3.2E-01	< 3.1E-01	< 3.1E+00	< 1.2E+00	< 3.7E-01	2.0E+00	-	-	-	-	-
No.3-2	2022/03/24 08:05	5.2E+02	1.7E+02	< 1.4E+00	< 2.1E+00	< 1.3E+01	< 4.4E+00	< 1.1E+00	6.7E+00	-	-	-	-	-
No.3-3	2022/03/24 08:10	1.9E+03	1.4E+03	< 3.2E+00	< 5.1E+00	< 3.7E+01	< 1.6E+01	7.7E+00	2.3E+00	-	-	-	-	-
No.3-4	2022/03/24 07:15	2.2E+01	3.2E+02	< 1.1E+00	< 1.4E+00	< 9.3E+00	< 3.7E+00	< 1.3E+00	7.6E+00	-	-	-	-	-
No.3-5 #1	2022/03/24 07:20	2.9E+01	< 1.1E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5E+02
3,4号観測ポイント 湧き上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限界の半検出: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約70日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不詳号 (<: 小数) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

・O.D.E±0.7は、O.C×10<sup>50</sup>であることを示す。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読み。

・H-3以外は塩素濃度を示す。

※ 2 No.2-5, No.3-5は、湧き上げによる検出であるため、γ測定による測定と異なる。



2022年3月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
No.0-1	2022/03/28 08:36	2.8E+01	< 1.7E+00	< 2.2E+00	< 1.4E+01	< 5.2E+00	< 2.4E+00	1.3E+01	—
No.0-1-2	2022/03/28 08:40	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 4.1E-01	< 3.5E+00	< 1.3E+00	< 3.4E-03	2.5E+00	—
No.0-2	2022/03/28 08:55	< 1.2E+01	< 3.1E-01	< 3.3E-01	< 3.1E+00	< 9.5E-01	< 3.1E-03	9.1E-03	—
No.0-3-1	2022/03/28 08:44	< 1.2E+01	< 2.4E-01	< 2.8E-01	< 2.3E+00	< 9.4E-01	< 2.7E-03	1.5E+00	—
No.0-3-2	2022/03/28 08:47	< 1.2E+01	< 3.7E-01	< 4.9E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 4.1E-03	1.4E+00	—
No.0-4	2022/03/28 08:51	< 1.2E+01	< 2.9E-01	< 2.3E-01	< 2.9E+00	< 9.3E-01	< 2.4E-03	3.1E+00	—
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-9※1	2022/03/28 08:32	1.8E+01	—	—	—	—	—	—	7.3E+01
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-15	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—

・検出限界半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約3700日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不検出 (< 小数点) は、検出限界未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および観測中止の項目は「—」と記す。  
 ・0.0E±0 は、0.0×10<sup>0</sup>であることを示す。  
 (例) 3.1E+01 は 3.1×10<sup>1</sup> で、3.1E+00 は 3.1×10<sup>0</sup> で、1.1E-01 は 1.1×10<sup>-1</sup> で、0.3と記す。  
 ※1 No.1-9は、取水路による取戻であるため、測定は実施せず。全βは参考値としての値に測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目						Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	その他放射性核種			
1,2号観測孔 深井上げ水										
No.2	2022/03/28 08:23	2.0E+02	< 2.0E-01	< 2.6E-01	< 2.0E+00	< 2.0E+00	< 8.1E-01	< 2.6E-01	2.5E+00	
No.2-2	2022/03/28 08:00	1.7E+02	< 1.6E+00	< 2.1E+00	< 1.6E+01	< 1.6E+01	< 5.7E+00	< 1.6E+00	4.8E+01	
No.2-3	2022/03/28 08:06	2.8E+04	< 4.0E-01	< 1.8E-01	< 3.8E+00	< 1.4E+00	< 1.4E+00	< 4.0E-01	2.6E+00	
No.2-5	2022/03/28 07:45	1.4E+05								
No.2-6										
No.2-7	2022/03/28 08:27	3.8E+02	< 2.8E-01	< 3.4E-01	< 2.4E+00	< 2.4E+00	< 9.1E-01	< 2.9E-01	1.4E+00	5.0E+02
No.2-8	2022/03/28 08:21	3.3E+03	< 2.5E-01	< 2.7E-01	< 2.3E+00	< 2.3E+00	< 8.1E-01	< 2.3E-01	1.6E+00	
2,3号観測孔 深井上げ水										
No.3										
No.3-2										
No.3-3										
No.3-4										
No.3-5										
3,4号観測孔 深井上げ水										

観測孔の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約379日)、Sr-90(約29年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不検出(＜)は、検出限界未満(ND)を表す。

測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

○OEEと併用、O×10<sup>n</sup>とあることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は0.31と読む。

※2 No.2-5、No.3-5は、既述による検出のため、測定は実施せず。全βは参考値として5σレベルに測定。

2022年3月29日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/03/21 08:13	1.0E+01	< 9.5E-01	< 8.8E-01	< 7.0E-01
1F 6号機取水口前	2022/03/21 08:47	< 1.5E+01	< 2.4E+00	< 5.2E-01	< 5.7E-01
1F 物揚場前	2022/03/21 07:30	< 1.5E+01	< 1.7E+00	< 6.4E-01	< 4.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東防除堤北側)	2022/03/21 07:30	< 1.5E+01	2.9E+00	< 6.1E-01	2.2E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (海水壁前)	2022/03/21 07:40	< 1.5E+01	4.0E+01	< 4.0E-01	4.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/03/21 08:50	1.2E+01	< 9.5E-01	< 5.7E-01	< 6.9E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/03/21 06:31	1.4E+01	< 1.7E+00	< 3.7E-01	< 4.3E-01
1F 港湾中央	2022/03/21 06:38	1.8E+01	< 1.7E+00	< 4.4E-01	6.4E-01
1F 港湾内東側	2022/03/21 06:36	< 1.4E+01	1.7E+00	< 2.3E-01	5.0E-01
1F 港湾内西側	2022/03/21 06:40	1.6E+01	< 1.6E+00	< 3.4E-01	< 4.0E-01
1F 港湾内北側	2022/03/21 06:42	< 1.4E+01	< 1.6E+00	< 2.3E-01	4.8E-01
1F 港湾内南側	2022/03/21 06:34	< 1.4E+01	< 1.6E+00	< 3.5E-01	5.8E-01
1F 北防除堤北側 (T-0-1)	2022/03/21 06:17	< 1.4E+01	< 8.6E-01	< 6.4E-01	< 6.5E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/03/21 06:19	< 1.4E+01	< 8.7E-01	< 6.0E-01	< 7.2E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/03/21 06:22	< 1.4E+01	< 8.6E-01	< 5.2E-01	< 7.3E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/03/21 06:24	1.8E+01	< 8.6E-01	< 7.0E-01	< 6.2E-01
1F 南防除堤南側 (T-0-3)	2022/03/21 06:26	< 1.4E+01	< 8.6E-01	< 7.6E-01	< 5.4E-01
暫定濃度限度 <sup>※1</sup>			6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不等号 (&lt;) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

0.0E+0とは、0.0×10<sup>+</sup>であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度〔本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載〕)

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年3月29日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/03/28 07:44	9.2E+00	< 6.4E-01	< 6.5E-01
1F 6号機取水口前	2022/03/28 08:32	2.1E+01	< 5.1E-01	< 4.4E-01
1F 物揚場前	2022/03/28 08:00	1.6E+01	< 4.2E-01	< 5.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東京除染北側)	2022/03/28 07:47	< 1.3E+01	< 2.7E-01	9.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遠水堤前)	2022/03/28 07:53	< 1.3E+01	< 5.5E-01	2.5E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/03/28 09:15	1.1E+01	< 7.6E-01	< 7.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/03/28 06:53	1.4E+01	< 4.1E-01	< 5.8E-01
1F 港湾中央	2022/03/28 06:59	< 1.3E+01	< 5.4E-01	< 5.1E-01
1F 港湾内東側	2022/03/28 06:57	< 1.3E+01	< 3.1E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内西側	2022/03/28 07:01	< 1.3E+01	< 3.4E-01	5.3E-01
1F 港湾内北側	2022/03/28 07:03	1.5E+01	< 2.9E-01	3.7E-01
1F 港湾内南側	2022/03/28 06:55	1.5E+01	< 3.6E-01	2.9E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/03/28 06:40	< 1.4E+01	< 9.5E-01	< 6.8E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/03/28 06:42	< 1.4E+01	< 8.2E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/03/28 06:45	< 1.4E+01	< 7.2E-01	< 6.0E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/03/28 06:47	< 1.4E+01	< 5.8E-01	< 6.1E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/03/28 06:50	< 1.4E+01	< 8.8E-01	< 7.5E-01
告示濃度限度 <sup>※1</sup>			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 ・不等号 (< ; 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。  
 ・〇.〇E±〇とは, 〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ・物揚場前は, シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別添第一号大綱: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])  
 ※試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年3月29日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 (核種)
一時貯水タンク (サブドレンタンク)	C 2022/03/25 07:48	830	東京電力	< 1.9E+00	8.2E+02	< 5.5E-01	< 5.4E-01	検出なし
			東北環境環境保全(株)	5.7E-01	8.7E+02	< 5.0E-01	< 6.3E-01	検出なし
	運用目標			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
	告示濃度限度※3			/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/
	WHO飲料水質ガイドライン			/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

16:40

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23390報)

2022年 3月29日 16時30分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23387報他でお知らせしたとおり、1号機の原子炉格納容器の水位確保のため、原子炉注水量の増加を実施しておりました。</p> <p>本日、水中ROVによる原子炉格納容器水位の確認をしたところ、水位の上昇は確認できたものの水中ROV搭載カメラの曇りなどが確認されたことから、調査の継続が難しいと判断しました。</p> <p>このため、水中ROV調査のために増加させていた原子炉への注水量について、準備ができ次第、下記の通り変更いたします。</p> <p>なお、同仕様の水中ROVへの入れ替えについても検討してまいります。</p> <p>&lt;原子炉注水変更予定&gt; (3月29日) 原子炉注水量 : 5.5 m<sup>3</sup>/h → 4.0 m<sup>3</sup>/h</p> <p>また、今後、原子炉格納容器内の水位が安定するまでの間、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整(-0.3 m<sup>3</sup>/h ~ +0.3 m<sup>3</sup>/h程度)を行います。</p> <p>流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせします。</p> <p>引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。</p> <p>【公表区分：E】</p> <p>※添付の有り (無し)</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考: この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

1703

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23391報)

2022年 3月29日 16時55分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2.2
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年) 3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第23385報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 11時05分</li> <li>・排水終了 : 15時39分</li> <li>・排水量 : 680m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	※添付の有リ (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

17:55

様式0-1(1/2)  
(第23392報)

応急措置の概要(原子炉施設)

2022年 3月29日 17時50分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要)  第23385報でお知らせしたとおり、地下水バイパス一時貯留タンクグループ2に貯水していた水について、本日以下の通り排水を実施しました。  ・排水開始 : 10時07分 ・排水終了 : 18時49分 ・排水量 : 1,870 m <sup>3</sup>  排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。  【公表区分: E】
その他の事項の対応(注3)	なし  ※添付の有リ (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。



18:21

1/1

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23393報)

2022年 3月29日 18時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第23390報でお知らせしたとおり、本日17時47分原子炉注水量を変更しました。裏續は以下の通りです。  <原子炉注水変更> 原子炉注水量 : 5.5m <sup>3</sup> /h → 3.9m <sup>3</sup> /h 内訳 ・FDW系注水量 : 4.0m <sup>3</sup> /h → 2.4m <sup>3</sup> /h ・CS系注水量 : 1.5m <sup>3</sup> /hにて変更なし  関連パラメータについては、異常のないことを確認しました。引き続き、慎重に監視してまいります。  【公表区分:E】
その他の事項の対応(注3)	なし ※添付の有り(無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。